

2024 年度版 地理学科教員が新入生に推薦する図書リスト（新書・文庫を中心に）

〔岩波新書・岩波ジュニア新書〕 数字は新書番号，発行年

- 稲泉 連『ドキュメント豪雨災害：そのとき人は何を見るか』1487, 2014
小林 隆・澤村美幸『ものの言いかた西東』1496, 2014
小田切徳美『農山村は消滅しない』1519, 2014
平岡昭利『アホウドリを追った日本人：一攫千金の夢と南洋進出』1537, 2015
宮内泰介『歩く、見る、聞く 人びとの自然再生』1647, 2017
河田恵昭『津波災害：減災社会を築く：増補版』1708, 2018
中村俊介『世界遺産：理想と現実のはざままで』1791, 2019
宮崎 勇・田谷禎三『世界経済図説 第四版』1830, 2020
金田章裕『景観からよむ日本の歴史』1838, 2020
内藤正典『イスラームからヨーロッパをみる』1839, 2020
宮内泰介・上田昌文『実践 自分で調べる技術』1853, 2020
宮崎雅人『地域衰退』1864, 2021
五十嵐敬喜『土地は誰のものか：人口減少時代の所有と利用』1914, 2022
鎌田浩毅『知っておきたい地球科学：ビッグバンから大地変動まで』1950, 2022
丸山浩明『アマゾン五〇〇年：植民と開発をめぐる相剋』1985, 2023
内藤正典『トルコ：建国一〇〇年の自画像』1986, 2023
浦瀬太郎『新・東海道水の旅』岩波ジュニア新書 806, 2015
山下祐介『地域学をはじめよう』岩波ジュニア新書 927, 2020
森 さやか『いま、この惑星で起きていること：気象予報士の眼に映る世界』岩波ジュニア
新書 954, 2022

〔ちくま新書・ちくまプリマー新書〕 数字は新書番号，発行年

- 上杉和央『地図から読む江戸時代』1144, 2015
宇都宮浄人『地域再生の戦略：「交通まちづくり」というアプローチ』1129, 2015
川端基夫『消費大陸アジア：巨大市場を読みとく』1277, 2017
水野一晴『世界がわかる地理学入門：気候・地形・動植物と人間生活』1314, 2018
三浦 展『都心集中の真実：東京 23 区町丁別人口から見える問題』1338, 2018
中川寛子『東京格差：浮かぶ街・沈む街』1374, 2018
鎌田浩毅『やりなおし高校地学：地球と宇宙をまるごと理解する』1432, 2019
陣内秀信『水都東京：地形と歴史で読みとく下町・山の手・郊外』1520, 2020
湯澤規子『ウンコはどこから来て、どこへ行くのか：人糞地理学ことはじめ』1523, 2020
山下祐介『地域学入門』1602, 2021
伊豫谷登士翁『グローバリゼーション：移動から現代を読みとく』1622, 2021
鳥越皓之『村の社会学：日本の伝統的な人づきあいに学ぶ』1711, 2023

広井良典編『商店街の復権：歩いて楽しめるコミュニティ空間』1775, 2024
山崎 亮『ふるさとを元気にする仕事』ちくまプリマー新書 244, 2015
今尾恵介『地名の楽しみ』ちくまプリマー新書 248, 2016
岸 由二『生きのびるための流域思考』ちくまプリマー新書 378, 2021
若林芳樹『デジタル社会の地図の読み方 作り方』ちくまプリマー新書 394, 2022
萬年一剛『富士山はいつ噴火するのか?』ちくまプリマー新書 406, 2022
山本和博『大都市はどうやってできるのか』ちくまプリマー新書 411, 2022
伊藤智章『ランキングマップ世界地理:統計を地図にしてみよう』ちくまプリマー新書 436,
2023

【中公新書・中公新書ラクレ】数字は新書番号, 発行年

武部健一『道路の日本史：古代駅路から高速道路へ』2321, 2015
梯 久美子『カラー版 廃線紀行：もうひとつの鉄道旅』2331, 2015
古川武彦『気象庁物語：天気予報から地震・津波・火山まで』2340, 2015
吉原祥子『人口減少時代の土地問題：「所有者不明化」と相続、空き家、制度のゆくえ』2446,
2017
西村まさゆき『ふしぎな県境』2487, 2018
内田宗治『外国人が見た日本：「誤解」と「再発見」の観光 150 年史』2511, 2018
永澤義嗣『気象予報と防災：予報官の道』2520, 2018
後藤健太『アジア経済とは何か：躍進のダイナミズムと日本の活路』2571, 2019
安成哲三『モンスーンの世界：日本、アジア、地球の風土の未来可能性』2755, 2023
今尾恵介『駅名学入門』中公新書ラクレ 682, 2020
橋本健二『東京 23 区×格差と階級』中公新書ラクレ 741, 2021
今尾恵介『地図記号のひみつ』中公新書ラクレ 784, 2023
今尾恵介『地図バカ』中公新書ラクレ 801, 2023

【講談社ブルーバックス】数字は新書番号, 発行年

藤岡換太郎『川はどうしてできるのか』1885, 2014
山崎晴雄・久保純子『日本列島 100 万年史』2000, 2017
鎌田浩毅『地学ノススメ：「日本列島のいま」を知るために』2002, 2017
中川 毅『人類と気候の 10 万年史』2004, 2017
藤岡換太郎『フォッサマグナ』2067, 2018
横山祐典『地球 46 億年気候大変動』2074, 2018
中島淳一『日本列島の下では何が起きているのか』2075, 2018
鎌田浩毅『富士山噴火と南海トラフ』2094, 2019
藤岡換太郎『見えない絶景：深海底巨大地形』2116, 2020
菅沼悠介『地磁気逆転と「チバニアン」』2132, 2020

藤岡換太郎『天変地異の地球学：巨大地震、異常気象から大量絶滅まで』2210, 2022
佐野貴司ほか『日本の気候変動 5000 万年史』2212, 2022
古川武彦・大木勇人『図解・気象学入門 改訂版』2235, 2023
保坂直紀『地球規模の気象学：大気の大循環から理解する新しい気象学』2245, 2023

【その他の新書】

野澤千絵『老いる家 崩れる街：住宅過剰社会の末路』講談社現代新書 2397, 2016
青木美希『地図から消される街：3.11 後の「言っではいけない真実」』講談社現代新書 2472, 2018
NHK スペシャル取材班『縮小ニッポンの衝撃』講談社現代新書 2436, 2017
小笠原喜康・片岡則夫『中高生からの論文入門』講談社現代新書 2511, 2018
出井康博『ルポニッポン絶望工場』講談社+α 新書 737-1C, 2016
田中淳夫『森と日本人の 1500 年』平凡社新書 751, 2014
金坂清則『イザベラ・バードと日本の旅』平凡社新書 754, 2014
深井 有『地球はもう温暖化していない：科学と政治の大転換へ』平凡社新書 791, 2015
今尾恵介『東京凸凹地形散歩：カラー版』平凡社新書 842, 2017
齊藤忠光『地図とデータでみる都道府県と市町村の成り立ち』平凡社新書 940, 2020
今尾恵介『絶景鉄道地図の旅』集英社新書 720, 2014
小林紀晴『東京「水流」地形散歩』集英社新書 956, 2018
中貝宗治『なぜ豊岡は世界に注目されるのか』集英社新書 1170, 2023
土屋信行『首都水没』文春新書 980, 2014
土屋信行『水害列島』文春新書 1227, 2019
速水 融『歴史人口学で見た日本：増補版』文春新書 1363, 2022
森 さやか『お天気ハンター、異常気象を追う』文春新書 1373, 2022
芹澤健介『コンビニ外国人』新潮新書 767, 2018
小坪 遊『「池の水」抜くのは誰のため？ 暴走する生き物愛』新潮新書 879, 2020
藻谷ゆかり『山奥ビジネス：一流の田舎を創造する』新潮新書 971, 2022
大西康之『流山がすごい』新潮新書 979, 2022
牧野知弘『空き家問題：1000 万戸の衝撃』祥伝社新書 371, 2014
佐滝剛弘『観光公害：インバウンド 4000 万人時代の副作用』祥伝社新書 574, 2019
山岡光治『地形図を読む技術』サイエンス・アイ新書 282, 2013, 415 (新装版), 2018
荒木健太郎『雲を愛する技術』光文社新書 923, 2017
藤井一至『土 地球最後のナゾ：100 億人を養う土壌を求めて』光文社新書 962, 2018
NHK 取材班『データでよみとく外国人"依存"ニッポン』光文社新書 1033, 2019
三浦 展『昭和の東京郊外 住宅開発秘史』光文社新書 1216, 2022
西森 聡『そうだったのか、路面電車』交通新聞社新書 128, 2018
松本典久『どう変わったか？平成の鉄道』交通新聞社新書 132, 2019

小林政能『なんだこりゃ？知って驚く東京「境界線」の謎』じっぴコンパクト新書 278, 2016
内田宗治『地形と地理で解ける！東京の秘密 33：多摩・武蔵野編』じっぴコンパクト新書 360, 2018
内田宗治『地形で解ける！東京の街の秘密 50：改訂新版』じっぴコンパクト新書 376, 2020
竹内正浩『妙な線路大研究：東京篇』じっぴコンパクト新書 379, 2020
平沼義之『日本の道路 122 万キロ大研究：増補改訂版』じっぴコンパクト新書 390, 2021
黒田 涼『大軍都・東京を歩く』朝日新書 492, 2014
河田恵昭『日本水没』朝日新書 571, 2016
石井幸孝『人口減少と鉄道』朝日新書 660, 2018
吉川祐介『限界分譲地：繰り返される野放図な商法と開発秘話』朝日新書 941, 2024
井上恭介・NHK「里海」取材班『里海資本論：日本社会は「共生の原理」で動く』角川新書 K-33, 2015
金丸弘美『里山産業論：「食の戦略」が六次産業を超える』角川新書 K-62, 2015
岡本 健『巡礼ビジネス：ポップカルチャーが観光資産になる時代』角川新書 K-243, 2018
石 弘之『環境再興史：よみがえる日本の自然』角川新書 K-282, 2019
今尾恵介『地名崩壊』角川新書 K-293, 2019
出井康博『移民クライシス：偽装留学生、奴隷労働の最前線』角川新書 K-295, 2019
石 弘之『噴火と寒冷化の災害史：「火山の冬」がやってくる』角川新書 K-398, 2022
久保健治『ヒストリカル・ブランディング：脱コモディティ化の地域ブランド論』角川新書 K-437, 2023
今尾恵介『地名散歩：地図に隠された歴史をたどる』角川新書 K-438, 2023
竹内正浩『写真と地図でめぐる軍都・東京』NHK 出版新書 457, 2015
島村英紀『火山入門：日本誕生から破局噴火まで』NHK 出版新書 461, 2015
釜井俊孝『宅地崩壊：なぜ都市で土砂災害が起こるのか』NHK 出版新書 582, 2019
山崎晴雄『富士山はどうしてそこにあるのか：地形から見る日本列島史』NHK 出版新書 584, 2019
藤岡換太郎・平田大二編『日本海の拡大と伊豆弧の衝突：神奈川の大地の生い立ち』有隣新書 75, 2014
藤井一至『大地の五億年：せめぎあう土と生き物たち』ヤマケイ新書 025, 2015
及川輝樹・山田久美『日本の火山に登る：火山学者が教えるおもしろさ』ヤマケイ新書 046, 2020
猪熊隆之・海保芽生『山の観天望気：雲が教えてくれる山の天気』ヤマケイ新書 056, 2021
田中淳夫『獣害列島：増えすぎた日本の野生動物たち』イースト新書 127, 2020
皆川典久・東京スリバチ学会『東京スリバチ地形入門』イースト新書 Q 013, 2016
巽 好幸『富士山大噴火と阿蘇山大爆発』幻冬舎新書 419, 2016
井出 明『ダークツーリズム：悲しみの記憶を巡る旅』幻冬舎新書 506, 2018
鎌田浩毅『首都直下地震と南海トラフ』MdN 新書 016, 2021

木下 斉『まちづくり幻想：地域再生はなぜこれほど失敗するのか』SB 新書 538, 2021
宮路秀作『現代史は地理から学べ』SB 新書 626, 2023
水野一晴『世界と日本の地理の謎を解く』PHP 新書 1259, 2021
鐵坊主『鉄道会社 vs 地方自治体』KAWADE 夢新書 449, 2024
金田章裕『地形と日本人：私たちはどこに暮らしてきたか』日経プレミアシリーズ 438, 2020
新谷幸太郎編『地図から消えるローカル線』日経プレミアシリーズ 487, 2022

【文庫】

今尾恵介『日本地図のたのしみ』ちくま文庫, 2016
本田 創ほか『はじめての暗渠散歩：水のない水辺をあるく』ちくま文庫, 2017
野瀬泰申『天ぶらにソースをかけますか？：ニッポン食文化の境界線：決定版』ちくま文庫,
2018
貝塚爽平『富士山の自然史』講談社学術文庫 2212, 2014
織田武雄『地図の歴史：世界篇・日本篇』講談社学術文庫 2498, 2018
堀越正雄『江戸・東京水道史』講談社学術文庫 2629, 2020
鏡味完二『日本の地名』講談社学術文庫 2669, 2021
今尾恵介『地図が隠した「暗号」』講談社+α文庫, 2014
大河内直彦『チェンジング・ブルー：気候変動の謎に迫る』岩波現代文庫・社会 280, 2015
鎌田浩毅『火山はすごい：千年ぶりの「大地変動の時代」』PHP 文庫, 2015
今尾恵介『番地の謎』知恵の森文庫, 2017
日下雅義『平野が語る日本史』角川ソフィア文庫, 2020
水野一晴『自然のしくみがわかる地理学入門』角川ソフィア文庫, 2021
水野一晴『人間の営みがわかる地理学入門』角川ソフィア文庫, 2022
山岡光治『地図をつくった男たち：明治測量物語』角川ソフィア文庫, 2022
筆保弘徳ほか『こちら、横浜国大「そらの研究室」！天気と気象の特別授業』知的生きかた
文庫, 2020
本多勝一『日本語の作文技術：新版』朝日文庫, 2015

【その他】

青木栄一『鉄道の地理学』WAVE 出版, 2008
青木栄一『交通地理学の方法と展開』古今書院, 2008
太田猛彦『森林飽和』NHK ブックス 1193, 2012
木下是雄原作『まんがでわかる理科系の作文技術』中央公論新社, 2018
鶴 通孝『整備新幹線：紆余曲折の半世紀』鉄道ジャーナル社, 2019